

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

公表日: 2023年2月25日

事業所名: ヴィストカレッジ富山駅前

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	7	0	ワーク室の数を考慮し、3枠で支援を行えるよう工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	1	ニーズの高い時間帯等のスタッフの動きなど工夫する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	4	入口に階段あり。介助が必要な場合は地下のエレベーターを利用。今後、環境整備に努める。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	3	0	児童発達管理責任者を主としてすぐに共有できる雰囲気づくりに努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2	0	ご意見をもとに早急に検討、対応を行う。定期的に保護者会を行い、保護者の要望、意見を聞く。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	1	公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	5	現在は第三者委員会設置していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	0	月2回程度のスタッフの内部研修を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2	0	今後、複数体制で年1アセスメント面談実施。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	3	ニーズの高い項目や将来に必要なスキルを整理する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	4	0	集団ワーク、イベントのMTGは毎月で行っている。個別支援会議を元に、チームでプログラム立案をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	ワークツールを共有し、新たなプログラムを考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3	1	利用者個々にタイムスケジュールの作成を行い、生活環境や特性に合った支援を担当者と考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	3	0	利用者のニーズに合わせて、活動を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	3	0	朝礼時に、今日の利用者の支援内容を確認し、スタッフ間で打ち合わせを行っている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	1	0	終礼の際に必ず実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2	0	常に記録を取っており、支援の検証については適宜行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	7	0	各々でガイドラインについて熟知する。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	5	0	利用者、保護者の要望に応じて学校連携を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	7	2	現在は該当する児童はいないが、受け入れの際は対応を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	7	中高生メインの事業所のため幼少期の様子などは保護者からの情報を元にしている。正確なアセスメントのため幼少期から医療、福祉と繋がりがあがる方は情報を共有していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	3	1	就労移行支援、就労継続支援につなげている。また、私費サービスの紹介や、必要な福祉資源に繋げている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	3	該当児童に対して相談員等と定期的な報告を行い連携を取っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	6	夏まつり(空港緑地公園)で一般参加の子どもとの交流を行った。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	5	責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	3	1	HUGで詳細を記載している。また定期面談の際にもお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6	2	保護者会にて行っている(年2回)、また、私費事業で講演会を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	4	0	個別面談は常に受け付けており、保護者から要望がある際は、スタッフが詳細を聞き取り、必要な援助を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	0	定期的に保護者会を行っている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0	苦情に対しては、主訴をお聞きし対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	9	1	0	個人情報の取扱に関して、事業所内で検討し、十分な対策を行い、再発防止に努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	2	0	利用者にはワークの際に、特性に応じた提示方法で伝達している。また、保護者にはHUG、LINE等でお伝えしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6	1	夏まつり、アート展、音楽祭にて、地域住民との交流を行った。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1	0	各種マニュアルをエントランスにて掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	0	実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	4	1	施設として身体拘束をしない方針なので、計画に記載をしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	5	1	アレルギーの有無は把握して対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	